

10月21日(月)

彼らの目を見る

聖書朗読 マタイ 5:1～12

群集を見て、羊飼いのない羊のように弱り果てて倒れている彼らをかawaiiそうに思われた。

マタイ 9:36

今日の聖書朗読箇所は、いつも私の想像力を大いに刺激します。私の心の目には、移動労働者のラビがゆっくりと低木と岩がまばらに広がる草地の傾斜地を登っていくのが見えます。少し大きな石の所にたどり着くやいなや、彼は腰を下ろし、辺りを見渡します。彼の目は傾斜地の下に集り、二組もしくはグループに別れた群衆に目を留め、涙で溢れています。多くの者は、彼の目を見ることが十分な近さにいます。彼は誰を見ているのでしょうか？

人生の事情によって疲れ果てた妻。

最近の妻と新生児の死を悲しむ男。

市場で毎日施しを乞う年老いた未亡人。

真実と助言を熱心に求める若い学生。

群集を見張るために来たローマの軍人。しかし、今は耳を傾けて聞いている。

幼い弟をひざの上に乘せた十代の少女。

賢明なアドバイスを与えることで知られる、ユダヤ教の教会の指導者。

犠牲の大きい弟子訓練への道をちょうど始めようとする彼の親しい数人の友人たち。

そして、王国では、主はまた私たちの目を見ています。主は、私たちの希望、意図、困難、そして、信仰を見ておられます。そして、主は私たちを祝福してくださいます。

讚美歌 243

祈り 聖なる神様。どうか私たちの中のあなたの聖霊を新たにしてください。そして、私たちがイエス様の祝福を感じることが出来ますように。そして、今日の私たちの中にその聖霊が生き続けますように。

キリストの御名によって。アーメン。

ケリー・ミラー

カリフォルニア州 マリブ

今日の力

2013 年 10 月 21 日～10 月 27 日

翻訳 山田エミ

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

10月22日(火)

犬とその影

聖書朗読 マタイ 6:19～24

あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。 マタイ 6:21

ある一匹の犬が、肉屋から一枚の肉を盗みました。彼が小さな小川にたどり着いた時、彼は家に帰る途中でした。ちょうど小川を渡ろうとしたとき、彼は水に映る自分の影を見ました。彼は、もう一枚の肉をくわえた他の犬だと思いました。彼はそれをつかもうとしましたが、自分自身の肉片を落としてしまいました。彼は、全て失ってしまったのです。

強欲は罪です。それは、他人の者を欲しがろうとする気持ちです。それは、ただの願いではないのです。行動に移ってしまう願いです。パウロはそれを偶像礼拝と呼びました。しかし、私たちは他人から取ってしまおうと願うものを崇めてしまいます。『地上のからだの諸部分、すなわち、不品行、汚れ、情欲、悪い欲、そしてむさぼりを殺してしまいなさい。』（コロサイ 3:5）。このむさぼりが、そのまま偶像礼拝なのです。

パウロは、『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』（ローマ 13:9）という教えに要約されるように熱望しないように説きました。

私たちの心を愛に置き換え、他人への奉仕に集中させることによって、他人の必要性を考えることは、強欲の根幹である自分勝手な心を打ち壊します。他人を愛するということは、強欲を打ち倒す治療薬です。

私たちの不幸せ感の9割は、自分勝手な心です。そして、それは、神の御顔を侮辱するものです。

——G・H・モリソン

讃美歌 321

祈り 天のお父様。どうか私たちがあなただけに奉仕することが出来るように助けてください。私たちはあなたを愛しています。そして、私たちが他人への光になるようにあなたが助けてくださるよう祈ります。どうかあなたの愛の光で私たちの心を満たしてください。
イエス様の名によって。アーメン。

エディ・C・ルイス
ミシシッピ州 オリーヴブランチ

10月23日(水)

天国での発表

聖書朗読 マタイ 10:26～33

勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。そして・・・、わたしは、彼の名をわたしの父の御前と御使いたちの前で言い表す。 ヨハネの黙示録 3:5

選挙活動はたびたび、将来役人になるであろう人たちの存在のために、一般の人々の切望さを明らかにします。彼らは、夕方のニュース番組で、彼らの候補者の横に立つ自分たちの姿を見るかも知れません。お金がかかった選挙活動への貢献者は、候補者の名前によって公に認められることで恩恵を受けるでしょう。選挙活動での喝采はとても圧倒的なものです。その雰囲気はスリル満点です。しかし、それはやがて、いつしか消え去る名誉なのです。

役所への候補者の近くにさえ行ったことのない私たちの中の一番身分の低い者でさえ、どんな人間が与えることよりも、天国で私たちの名前が覚えられていることを知ることによって、もっと素晴らしい貢献を待ち望むことが出来るのです。私たちが呼び求める神によって私たちの名前が呼ばれることは、何という素晴らしい名誉でしょう。想像してみてください。天国がその名声のために一時静まる場面を。そして、喜びが炸裂する様子を。

『主はご自分に属する者を知っておられる。』（Ⅱテモテ 2:19）。そして、あなたが一人ぼっちであると感じる時、神様は本当にあなたに気づいているのかと疑う時、どうかこの素晴らしいただ一つの真実を覚え、気持ちを高めてください。神はあなたの名前を覚えておられます。

讃美歌 第二編 144

祈り 親愛なるお父様。私たちが失望した時、どうか私たちの記憶が、自分たちがどんな人間で、どんなことが出来るかということを思い起こせるようにしてください。そして、どうか私たちが、その「いのちの書」の中に私たちの名前が記されているということを思い起こさせてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

トラビス・アレン
コロラド州 センテニアル

10月24日(木)

耳を傾け

聖書朗読 マタイ 13:18～23

良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いてそれを悟る人のことで、その人はほんとうに実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びます。

マタイ 13:23

私は自宅の裏庭で美しい鳥たちに餌をやることを諦めたことがあります。どうしてか？ おなかをすかせたリスたちが、鳥たちを脅かして、餌箱を襲撃するところを目にしたからです。それでもまだ私は美しい羽につつまれた友人を見守るべきでしょうか？ 退屈しながら、私は上着と手袋を身に付け、散歩に出かけました。

来週の月曜日の予定を、優先順序をつけながら、思い悩んでいる時、私は、ショウジョウコウカンチョウの甲高い鳴き声に気がつきました。ハッとして私の思いから戻ると、私の視線は、高い松の木の上の枝に移りました。彼は、深緑の枝に形作られた中に緋色の羽を休めていました。静かな夜に響く彼のきれいな鳴き声は、人々を魅了します。

種を蒔く人のたとえ話は、耳を傾けるということを説いています。私たちの創造者は、多くの方法で私たちに話しかけています。実際に、神様は私たちが聴くか聴かないかに関わらず、私たちに話しかけています。主のメッセージは、耳を貸さない者にも、耳を傾ける者にも語りかけています。私が気を取られていた時に、ショウジョウコウカンチョウの鳴き声は幸運にも私の耳に入ってきました。それはとても幸せな気分になりました。神様は、私たちを祝福するために、私たちの最大の関心事を取り除こうとされます。あなたの耳は神様に開かれていますか？

讃美歌 453

祈り 宇宙、そして全ての良いものを創られた神様。どうか、あなたが私たちに注ごうとしていらっしゃる祝福に注目することが出来る目と、傾けることが出来る耳を、私たちにお与えください。

イエス様の御名によって。アーメン。

マデライン・ピーターソン

ネブラスカ州 ヘイスティングス

10月25日(金)

違いを創る

聖書朗読 マタイ 16:21～28

あなたがたは、地の塩です。もし塩が塩けをなくしたら、何によって塩けをつけるでしょう。もう何の役にも立たず、外に捨てられて、人々に踏みつけられるだけです。

あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。

マタイ 5:13～14

テレマクスは、4世紀に生きた社会から離れて生活を神にささげたキリストを信じる者でした。彼について語られる話はとても素晴らしいものです。

ある日、勢いで、テレマクスは砂漠にある彼の家を去り、ローマへと向かいました。当時、剣闘士がまだ大スタジアムで闘っていたころでした。彼は、彼が目にしたものに恐れおののいてしまいました。彼は、競技場に急いでいる時に、二人の剣闘士の間に囲まれてしまったのです。彼らは、テレマクスを脇に追いやったにもかかわらず、彼は戻ってきてしまったのです。怒りに狂った8万人の大観衆は、テレマクスに対して怒鳴り続けました。ついに決着が着きました。テレマクスは、死んでしまいました。他の誰かが死んでしまわないように、一人の聖人が殺されてしまったのです。その日以降、ローマでは剣闘士は闘うことを止めたのです。その一人の死は、この帝国の無残さを清めたのです。

その最大の規模で、イエス様は私たちが生きるために死なれました。主の死と復活は、この世の全ての罪を清めるために必要十分な力を持っています。

その最小の規模で、私たち自身の犠牲は、素晴らしい影響力をもたらします。寛容な心と、常に福音を伝えようとすることは、私たちの霊性の成長と他人の霊性の成長への鍵となります。

聖歌 581

祈り 神様。どうか、一日一日、他者を優先する生き方が出来ますように私を導いてください。そして、ひざまずいて祈る時も、私の祈りが他者のためとなりますように。

私たちはあなたの御名によって祈ります。アーメン。

リチャード・N・エディ

オレゴン州 グレシャム

10月26日（土）

問 題 の 中 心

聖書朗読 マタイ 18:21～35

力の限り、見張って、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれからわく。

箴言 4:23

無慈悲な使用人のたとえ話は、私たちの一人ひとりにとても明らかなものです。その啓示は、ペテロの質問から始まります。『主よ、兄弟が私に対して罪を犯した場合、何度まで赦すべきでしょうか？』（マタイ 18:21）。

私たちは、赦しは良いことだということを知っています。しかし、ペテロのように、私たちは進んで何度も赦そうとはしません。そして、私たちは、自分が出来る限り、見過ごしたいと願っています。しかし、イエス様は簡単に、ペテロにも私たちにもそうはさせません。主はペテロや私たちの赦そうとする気持ちと同様に、ペテロの増長の心に挑戦されます。イエス様は、77回、もしくはNIVの訳注では70の7倍、赦しなさいと諭されます。このことは、あなたが赦すということを数え続けるということは不可能だということを指しているようです。つまり、それは私たちに対する神の見方、もしくは、神が私たちに他者に対して同じ見方を持って欲しいとする期待でもあるのです。

この質問に続いて、イエス様は多く赦されたのにもかかわらず、わずかな負債を赦そうとしなかったしなかった使用人のたとえ話を説かれます。また、たびたび私たちは、自身の罪には甘いのに兄弟の罪には敏感であるということに気がつきます。彼の仲間たちは、その状況の不公平さを見抜いたということに注目してください。（マタイ 18:31）。ついに、主は私たちが赦すということを頑なに拒むなら、私たちに条件を提示します。それは、主の教えの全て同様、大変重要なことです。無慈悲な使用人は、彼自身の負債の全部を返済するまで、獄吏に引き渡されました。なぜなら、彼は赦しの心や兄弟を十分に赦してやるという気持ちを優先しなかったからです。

赦しは、心と心のふれあいです。失った心は、致命的です。

讃美歌 第二篇 184

祈り 親愛なるお父様。キリストにある赦しで、私を祝福してくださってありがとうございます。あなたが私を赦してくださったように、どうか私の心を守り、他者を赦すという祝福に心が開き続けますように導いてください。

ジャニス・グリーンリーフ
アラバマ州 ハンツビル

10月27日（日）

謙遜の心を教えるイエス様

聖書朗読 マタイ 19:13～23

人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人たちのための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。

マルコ 10:45

今日の聖書箇所では、イエス様は、この地上でかつて生きられた、その素晴らしい証しある姿、その生き様を引き合いに出されます。人の子、人類の代表、贖いの王は、仕えられるためではなく、仕え、助け、教え、病を癒し、罪から救うために、天からやって来られました。イエス様の全人生は他者への奉仕に奉げられたのです。

他者への奉仕の最大の例として、主は主を信じる全人類のために死なれました。主は、私たちの救出のための代価であったのです。私たちが真に罪に捕らわれたということを知りながら、主は、罪から私たちの自由を勝ち取るためにご自身の人生を奉げられたのです。主は私たちを取り戻すために、ご自身を身代金として、受け渡したのです。

キリストの全人生——初めての栄光、地上への再臨、誕生、幼少時代、教えるという使命、輝かしい働き、十字架での死——は、他者に捧げるということで、素晴らしい最大の例として、私たちの前に据えられています。この世の中心の象徴、完璧な人、王の王は、この世に生きる者の誰よりも、より広く、より犠牲的に他者に仕えることによって、キリストは最高の指導的地位を全うされたのです。

讃美歌 第二編 173

祈り 主よ。どうか、私たちの自己中心主義をお赦しください。そして、どのようにに他者に仕えるべきかをあたなから学べるように助けてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ビル・タイラー
テネシー州 ヘンダーソンビル